

SPEED★STAR

Machine Sports Autorace オートレースを100倍楽しむヒューマン・ドキュメント・マガジン 1997 Jun Vol.1

新創刊
生まれ変わった!
オートレース
オフィシャル情報誌

黒潮列伝

影山伸
Shin Kageyama

特観席サッカー解説者

柱谷幸一さん

飯塚編
THE ROOKIES

黒潮列伝

サーキットを沸かす男たち

1



去る4月15日。レース場内のツツジの花がピンクに色つきはじめた川口オートで、埼玉県知事賞の優勝戦が戦われていた。22期影山伸は、この決勝レースに進出を決めている。

直前の第10レースの発券締め切りを告げるアナウンスが場内に流れる。決勝出場の選手たちは、ロンカーにある下見室で、自分たちの出番を待っていた。雑誌のページをばらめくる選手、ヘッドホンステレオに聞き入る選手、そして隣同士でボソボソ話込む選手たちなどの間で、影山はひとりヘルメットを膝に置いた姿勢で、宙を睨み黙って座っている。

「出走前ですか? 『肝臓命走ろ』とか考えてるか、それとも寝てるか(笑)、イヤ、ポロとしてますよ、はじめのうちは、ブザーが鳴ってから、ヨシシで感じ。待機中に本は読みません。大嫌いなんです。漫画も読まないんですけど、たまたま20歳ぐらいのころに、人生ってなんだろうって時期がありましたね。笑わないでくださいよ、ゲータなんかに読んで、もう親に気持ち悪がられちゃって、『シンいやめなさい』なんて(笑)」

選手たちそれぞれの愛車も、下見室前のガレージに並び、特製ヒーターでタイヤを暖めながらエンジンの始動を待っている。影山の愛車『ゴワン』もその列の中にある。

『ゴワン』は、たまたまオートレースファンを讀んでたら、『豪腕』とかが、書いてあって、あ、豪腕ってカッコいいなと思ってたんです。それで、ゴワンでいいかと。そうそう同期の真(高橋・伊勢崎22期)はカイワね、あの野郎マネしやがて(笑)」

影山 伸

SHINKA GEMYAMA

「船橋の島田選手のように乗りたい」
7年前、釜本憲司の下に入門した新人は、
師匠にそう宣言した。
そして今、影山は憧れのトップレーサーの
幻影を追うようにコーナ―に挑む。

●影山 伸 (かげやましん)

川口オート所属・22期。昭和43年7月7日東京生まれ。171.2cm、60.9kg。蟹座のO型。趣味は音楽鑑賞とドライブ。平成8年の賞金獲得総額約2,350万円。平成7年の選手表彰やG1レースの優勝などの実績から、川口の新时代を担うレーサーの一人と目されている。墨田区内に妻と1歳の男児の3人暮らし。6月に第2子が誕生の予定。

相手が参ったというふうな、 豪快なレースをしたい。

SHIN KAGEYAMA

ライバルは自分自身。勝ち負けにこだわらず、自分の走りを目指す。

同期といえは、22期は逸材が多い。伊勢崎の高橋貢と並んで、同じ川口で影山のライバルと目される広木幸生も現在売り出し中だ。

「今は、誰もライバルとして考えないですね。最近では自分がライバルじゃないかと思うようになりました。だってレースを8人で走るから、ただ勝ち負けだけでいえば、他の7人がライバルということになるんですが、それってレースと一緒に目替わりで変わってゆくものじゃないですか。変わらないモノってなんだろっ、ライバルってなんだろっ、って考えたときに、もしかしたらそれは自分自身じゃないかなって最近考えるようになって

つたんですよ。そんな風に考えるようになってから、あまり勝ち負けにこだわらなくなってきました。勝ち負けに執着していると、自分が求めているものに目をやれないし、逆に自分の求めるところに目をやれば、勝つても負けても関係ないでしょ。負けて勝る必要も、勝つてウカれる心配もない。だから、自分の求めているものだけを目標そう。そういう色んな事を含めて、今自分自身がライバルだと思うわけなんです」

発走を目前にした午後4時ごろ。第11レースの締め切り直前になってレース場の中央に設けられた噴水池の水面に波紋が目立ちはじめた。怪しげだった薄曇りの空から、とうとう雨粒が降り始めたのだ。どよめきが場内に

広がって、掌を上にして、あわてて券売所に走る人々。すでに車券を買ってしまった者の溜息や舌打ち。そして天候と気象庁への悪態が観客席を覆う。

やがてオッズを伝えるモニターの数字が急に勢いよく動きはじめ、最初低かった影山のオッズがじりじりと上がりだす。多くのファンは彼が雨に勝てないと読んだようだ。

「車券ですかそりゃ売れないより、売れた方がいいですけどね。ただ、自分の場合、今までほとんどお客さんを裏切り続けてきたんで(笑)、人気はわかりませんが、買ってくれらるといのは、イヤじゃないですよ、やっぱり。かといって別に気にしてもいませよ、そんなのは。本当はあまり見ないようにしてらんですよ、電

光掲示板を。余計なことを考えちゃうから。最近では、スタートの時、無駄な力が抜けてきましてね。え、ひと皮分けたって、どうの？どうの？。もつとムケなきや。でも、タマネギみたいに全部もけても結局何もなかったりして、(笑)。泣けちゃいますねタマネギだけに(笑)」

やがて、場内にファンファーレが鳴り響き、レーサーたちがピットからコースに出てくる。このレースで、影山は1枠。唯40mのハンデを背負った出走である。川口オート名物「アストロピジョン」の画面で、彼の純白の勝負服が鮮やかに映える。スタートの合図を待って、レース場全体が瞬水を打ったように静まり返った。

「デビュー戦は雨でした。ズボズボ抜かされて、いつか悔しいと思いましたよ。2日目は晴れて頭獲れたんですけど、その時の3・4コーナーは今でもよく覚えています。ギラギラ照りの暑い日だったですね」

デビュー当時からがむしゃらが持味。突っ込みへの恐怖心はない。

影山の師匠、釜本壽司(11期)はデビュー当時の彼についてこう語る。

「最初の頃はもう、がむしゃらに乗ったから大変だったですよ。突っ込んできちゃ、ひと悶着起したり、とかね。落ちて着きがないとかね。大変だったですね」

なるほど、影山の走りはダグレンシブだ。他の選手なら思わず尻込みするよつなインのわずかな隙間にも果敢に切り込んでゆく。事実、この前日14日の準決のレースでも、走法注意の処分を受けている。彼は言い切った。

「怖くないですよ、自分が行くときは。他人のレースを見てると、『あ、怖えー』なんて思うけど、自分の時は別(恐怖心はないですね)こんな影山の走りがある開催スタッフはもう評価する。

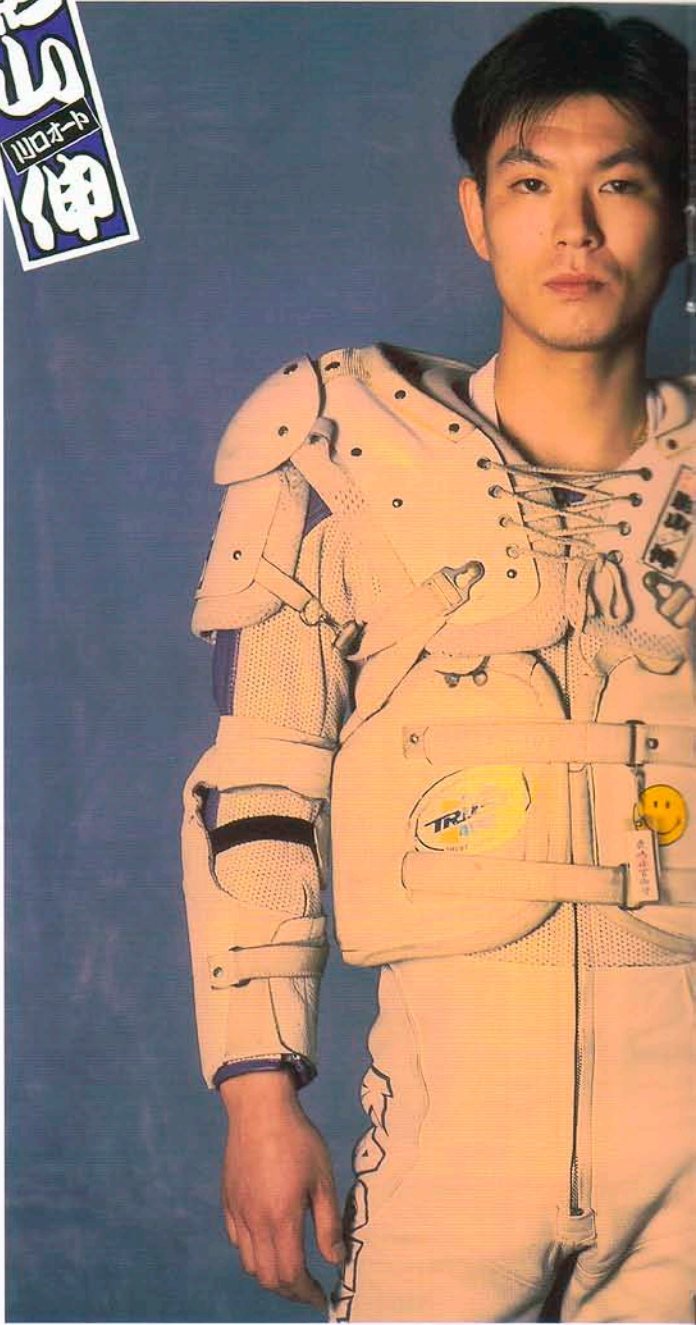
「影山選手は若手の中で有望株じゃ



黒潮列伝

1

サーキットを沸かす男たち



「入門当時から、影山はプロ的にはいいもの持っていましたよ。乗車フォームで、それぞれ顔つきが違うのと同じようにレーサーによってもいろいろクセがあるもんなんですが、影山の場合は基本フォームというのに、ほとんど近い乗り方をしてました。本人も島田選手みたいな乗り方をしたいと言っていましたから。それで、ハンドルとか腰廻りとかは、みんな島田選手と同じようにセッティングして走ってるんです。ええ、いいフォームしていますよ」

島田信廣は影山の目標だといふ。

「島田（総橋）11期。さんは自分の目標なはず。たとえばひとレース終えて帰ってきたときに、島田さんならどういふふうにと走ったかなど反省して、イメージを思い浮かべて、ああ、あそこがいけなかったかなどか、もうちょっとあすればよかったとか、考えます。島田選手の凄さは、前でも、後ろでもさばっていること。臨機応変に、正攻法でも奇手も打てる、そういう走法ですね。整備もすごいですね。遠征でいっしょになった時に見てもらったりするんですけど、ほんのちとあとしたトコがわかっちゃうんですよ。凄みみたいなものも感ぜますね。ああなりてえなあと思っていますもん」

相手と交ったといわせるレースが理想。が、今の自分の実力は自覚している。

では、具体的に影山伸の目指す走りは、どういふものなのか。

「自分が目指す走りは、ひと口にいえば、豪快なレース。相手にもう交ったといわせるようなレースがしてみたいです。たとえば、自分が外から行くとして、相手が抵抗もまきまき入りに入る時には、相手が邪魔しようがない入り方って言うんですか。「ああ、もう抑えられないよ」って言わせるような、そんな豪快な抜くときに相手が交ったといふ走りですね。そう、それが島田さんの走りなはず」

さて、レースの方は、雨走路に抜群の強さを誇る影山の師匠釜本憲司が、20mのハンデにも恵まれて3周目で頭を獲り、追い上げる吉田幸司をかわして優勝をさらった。ハンデ40mの影山は追いついて3着。師匠は自分が抑えた弟子をどう評した。

「課題は、山ほどありますよ。雨に弱いだけじゃなくて、スタートが遅いし、整備もまだまだだし、あと、精神的なものとかね。それに、常々言うてるんです、川口だけで速くてもダメなだけで、川口だけで満足しないで

島田や片平を破るような選手にならなきゃいけないまで行けるかは本人次第でしょうけど」

次の目標は、SGでの1勝。10年目までに全国区へ。

もついで、現在の実力と将来の目標について、釜本に指摘されるまでもなく影山自身自覚しているよった。

「やっぱりSGは獲りたいですねえ。ええ、できれば全部獲りたいです。SGで島田さんや片平さんといっしょに走ったらどうですか。自信になりますもんね。年内、それはちょっと無理じゃない。SG。今年、7年目なはずですけど、自分では10年以内にはSG獲って全国区の選手になりたい、それだけの力のある選手になりたいなという気持ちはありますけど。まだ、全国区の選手にはなっていないじゃないですか」

では最後に、今回のレポートを影山の師匠、釜本憲司の言葉で締めくくろう。

「私にとって直接の弟子は影山がはじめてなんです。運もあるんですけど、うまく育つてもらいたいですねえ。持てるものは、イイモノ持ってるんだから」



●柱谷幸二さんの巻

オートレースを観戦しながら、 ついサッカーの未来についても 考えてしまいました。

オートレース場は、正直にいつて怖くて入りにくいところというイメージがあったんですが、バンクが実に美しい(ー)し、スタンドもキレイに整備されているので、ゲームセンターみたいな感覚で遊びに来れる場所でしたね。

マシンも競技のために考えぬかれていて、ガソリンタンクは10周を走れるだけのギリギリの容量しかないし、計器類もない、ブレーキもない。最初車体を見たとき「これではほんとに600cc?」と思うほどスリムでした。このバランスならあの物凄いパワーがでるのも当然でしょう。

オートレースのマシンは左周回をスムーズにするため左ハンドルが極端に高くなっていますよね。あれももともとはそんなに凄い傾斜じゃなかったそうです。それが50年近い歴史の中で、どんどん改良されてきたんですね。ファンに気持ちよく楽しんでもらおうという面でも、理想の競技を追求しようという面でも、よく練り込ま

れてきたスポーツだと思えます。

プロ化してまだ5年のJリーグは、サービス面ではかなり遅れていて、例えば、雨降った時に濡れずに観戦できる屋根付きのスタンドもほとんどないし、座席も狭い。チケット持っても雨だから行くのやめよう、みたいなながたが多いですね。そこが問題だなと、あらためて思いました。

* * *

今日初めてナマでレースを見て、レーサーのロッカールームにもお邪魔させてもらった中で最も強く感じたことは、オートレーサーのプロフASHIONナリスム——ひとりひとりが背負っている責任の大きさです。

1台80万円ほどで、パーツを加えると130万円を越えてしまうというバイクは完全に個人所有だし、プラグひとつ取り替えるのも自分のカネでなのだという。タイヤを削ったりマシンを整備するのももちろん自分

サッカー界では、いまや巧みだけの

選手では駄目、技術・戦術・体力・精神力の4つを高いレベルでクリアし、なおかつ何か突出した部分のある選手でなくては通用しません。オートレーサーには、その4つの要素にさらにメカクックの知識を加えた、総合的な能力が要求されるのでしよう。

オートレーサーは、開催期間中は

宿舎とレース場にカンヅメになって、よほど事情がない限り家族からの電話の取り次ぎさえしないそうです。レースの公正さを維持するためとはいえず、キツイ生活だと思えます。レースを闘うライバル達と同じ空間を共有しながら、それぞれに集中力を高めコンディションを維持してゆく。ナミの精神力ではできない仕事ですね。

* * *

車券にもトライしましたが、残念ながらはずれてしまいました。でも「いいレースを見せてくれてありがとう」という料金だと思えばそれも納得できるし、ちゃんと予算を決めてやればまる1日楽しめる娯楽だろうと思います。

(はしらたに・こういち)

サッカー解説者。1961年生れ。日産自動車一浦和レッズー柏レイソル。JFL時代からJリーグ時代へと永く日本サッカーを支え、昨シーズン引退。日本代表として国際Aマッチに29試合出場を果たした。現在、柏レイソル サッカースクールのテクニカルアドバイザーや、ベイFMラジオフライデイスポーツタイムのキャスターを務めるなど、幅広く活躍している。

[ホームページ・アドレス]

http://www2m.meshnet.or.jp/~hasira



5月26日川口オートにて

THE ROOKIES

出てこい、次代の
ニュー・ヒーロー!!

飯塚オート・第25期生

養成所“最優秀”の有吉を中心に、新人王への熾烈なバトルが始まった!

●写真左より

有吉辰也 (ありよし かつや)
宮崎県出身。21歳。「小さい頃父に連れられオートレースを見てから、ずっとレーサーになりたかった。養成所では「フォームが安定してと言われました。負けたくないのは「船橋の永井大介選手」。目標は「オールスターにファン投票で選ばれたい」。

越智尚寿 (おち なおひさ)
福岡県出身。23歳。「ものごとこつた時からオートレースの何から何までカッコいいとあこがれてた。現在「コースどりの難しさを痛感してる」。目標は「スタートうまくて、晴れ雨こなせる選手。SGに出てガン活躍したいです」。

宮地 朗 (みやち りょう)
福岡県出身。21歳。性格は「おとなしく見られますが、他人に負けたくない気持ちは一歩です」。「新人は初めのうち“逃げ”なんで、ぜひともスゴイ逃げを決めてみたい」。「5年後にはA級のシングルになりたい」。

西村昭紀 (にしむら あきのり)
福岡県出身。23歳。「オートレースは実力社会で、手を抜くと全部自分に返ってくるのがいい」。「あのひとの乗り方キレイやね、と言われたい」。目標は「飯塚の中村政信選手です」。

東小野正道 (ひがしおの まさみち)
福岡県出身。23歳。「飯塚オートレース場でアルバイトをして近くで見ているうちに、レーサーになりたいと思いました」。性格は「あまり落ち込まず、立ち直りが早い」。「早くA級になって、遠征に行ける選手になりたいです」。

今年3月に養成所を卒業、4月にいきなりデビューとなった第25期生達。飯塚には5名の新人が登場した。

このところ関東勢優位の感のあったオートレース界だが、飯塚の25期生たちは実に頼もしい。

彼等の中核にいるのは、選手養成所で最優秀賞を獲得した有吉辰也選手だ。一見してやさしげで、自分でも「おとなしい性格だと思う」というが、いざレースになると「ひとよりもとにかく前に行きたい」と約変するという。

その有吉選手を強く意識しているのが東小野正道選手。「身近にタツ(有吉選手のアダ名)という目標があるのはいい刺激になる。まずはタツに食いついていきます」と明言する。デビュー戦での落車骨折という厳しい経験をバネにしての大きな飛躍を期待したい。

山陽をホームにする現役のレーサー(宮地朗選手)を叔父に持つサラブレッドが、宮地朗選手だ。「スタートが早く雨にも強い叔父さんみたいな選手にな



むき出しにする。

スターは、ある時期・ある場所に固まってるものらしい。飯塚25期生にもその“匂い”を感じないだろうか。

るのが目標です。夢は優勝戦で叔父さんと1・2フィニッシュを決めることだ。

デビュー3戦目から6連勝を記録したのが、おっとりタイプの多い飯塚の新人の中では勝ち気さと陽気さのミナギる越智尚寿選手。「レースの恐さがわかり始めてこの頃ちょっとビビりが入ってますが(笑)、新人王は一生に一度のことなのでぜひ獲りたいです」とギョロ目を光らせた。

最初「ぐるぐる左に回ってるだけじゃないかと思ってたんですが、乗ってみると大違いでした」との茶目っ気あるコメントは西村昭紀選手。「このインタビュー、あまりギョーらしく(大げさに、の意味とか)書かなくてください」と言う彼も「同期には負けたくない」とライバル心を

オートレースを支える様々なプロたちによる、ココだけのナイショ話、ヒミツのウラ話。

オフコミ談話室

川口オートレース場
番組編成委員S氏 (委員歴9年) の巻
その①

「番組編成は、お客さんの“読み”との戦いです」

番組編成の使命は、公正&魅力あるレースメイク。

「番組編成の仕事は、オートレースの出走表のもとになる、レースごとの選手の組み合わせとハンデを決めること。そして私たち番組編成委員の使命は、全選手に勝つチャンスのある公正さを持ち、かつ、お客さんにとって魅力的な番組をつくることです。

交流選手が30人も40人も来てくれれば楽なんです、そうもいかない。けて多いとはいえない交流選手と地元選手の選手をうまく組み合わせたいにお客さんを“迷わせる”番組をつくるかに、常に頭を悩ませています。

私たちが番組をつかっていて、このレースはA選手とB選手でカタイだろうと思ったら、お客さんはもっとカタイと思うんです。やはり勝負がかかっている、私たちよりも数段シビアに読んで来ますからね」

300円以下の配当は、番組編成の“負け”なんだ。

「ここ川口には3名の番組編成委員がいて、合議制で番



組を組んでいますが、その時、もし3人が3人とも“これで決まり”と一致したレースがあったらダメなんです。配当にロコツにです。それこそ100円とか。

そのへんはもう、言葉は悪いですがお客さんとのケンカで、

100円配当なんていうのは私たち番組編成委員の“惨敗”なんです。連単の第1本命で400円から500円つければ“ドロ”。500円以上なら私達の勝ち。300円以下なら負けだと、そんな覚悟です。

お客さんの立場に立ってみても、配当300円の車券では突っ込みにくいでしょう。そう大勝負には出られないですから、売り上げもそうは伸びません。

逆に言えば、魅力あるレースなら売れる。先日あったあるレースでは結果的にアタマがカタくて2着探しが難しかったんです。それがみな5~600円ついたので、一番ついたので1000円くらい。そのレースはやっぱり売り上げが伸びましたね。

おもしろいレースの理想は、6周回3コーナーでアタマが決まること。それも8車連続で1秒以内にゴールということになれば番組興利につきますね」(談)

●次回は、選手の組み合わせかたについて、ご期待ください。

CLIP BOARD

開催日程のお知らせ

Racing Schedule

7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
船橋		船橋(市)2							船橋(市)施					場外(市)						船橋(市)2 G	黒潮杯										
川口		場外(市)				川口(市)2							場外(市)							川口(市)施2							川口(市)2 G	II	キューボラ杯		
浜松		浜松3											浜松4 SG	第1回東西チャンピオンカップ														浜松4			
飯塚		場外						飯塚3					場外(市)							飯塚施4								飯塚4			
山陽		山陽8 G	II	平成チャンピオンカップ				山陽4					場外(市)							山陽4								山陽4			
伊勢崎		場外						伊勢崎4					場外(市)							伊勢崎4								伊勢崎4			

Racing Schedule

8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
船橋				船橋(県)3										船橋(県)3													船橋(市)3 G	II	さんか杯	~9/4	
川口										川口(県)3				川口(県)3											川口(県)3				川口(市)3	~9/1	
浜松			浜松5											浜松5															浜松6	~9/2	
飯塚			飯塚5											飯塚5										飯塚6 G	II	ダイヤモンドレース			飯塚6	~9/1	
山陽				山陽5										山陽5														山陽6	~9/3		
伊勢崎			伊勢崎5 G	II	稲妻賞									伊勢崎5										伊勢崎6				伊勢崎6	~9/1		

●施=施設改善レース ●=場外発表

8車8枠の勝負服新カラーをファン投票で決定

平成10年度より実施される8車8枠へ向けて、日動振では新しい7・8号車の色をファン投票で募集しました(8月末募集終了)。年内には投票結果を発表の予定です。乞うご期待!!

TOPICS

インターネットで花盛り!! オートレースホームページ



爆発的なブームが続いているインターネット、ネット上には、さまざまなテーマのホームページ(HP)が掲載されています。オートレースもそのひとつ。船橋や川口など各レース場のHPをはじめ、各地のマニアによる手作りのHPも多数出現し、観戦記やレース結果、選手のデータなど、趣味だからこそできる熱心な調査と取材で、中身の濃い情報が満載です。なお、日動振の公式ホームページも7月中旬頃にはオープン予定です。お楽しみに。

●川口オート <http://www.sainet.or.jp/~autorace/>

平成7年1月、阪神地方を襲った阪神淡路大震災の被災地を支援するため、昨年川口オートレース場で「平成8年度阪神・淡路大震災復興協賛特別オートレース」が開催されました。この売上金の一部約2億9,570万円が、去る5月23日、東京丸の内増玉東京事務所において全国小型自動車競走施行者協議会会長の土屋埼玉県知事から、財団法人阪神・淡路大震災復興基金へ贈呈されました。被災地の復興に役立てられる予定です。

阪神・淡路大震災被災地へ復興支援金 約3億円を贈呈

プレゼントコーナー



①オートレース・テレカ

②SGオールスター・テレカ

オートレース・テレホンカードを、抽選で合計10名様にプレゼントします。官製はがきに、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、希望のテレカの番号を記入し、下記編集部までお送りください。締め切りは7月31日(当日消印有効)。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

「SG第1回東西チャンピオンカップ」出場予定選手決定!

今年から新しいSGレースとして始まる「東西チャンピオンカップ」。各地区の賞金獲得ランク上位の選手を集めた、ファンにとってはまさに夢の対決です。その記念すべき第1回の開催要項と出場予定選手が発表されました。

- 開催地：浜松オートレース場
- 開催日：平成8年7月12日～16日
- 参加選手：正選手96名(12レース制)
- 選定方法：平成8年の各地区賞金獲得額 順位上位者
- 優勝賞金：1,400万円

出場予定選手

- <7月12日 第12R西地区ドリーム戦>
- 中村政信/飯塚19期 小林啓二/山陽8期
- 鈴木辰巳/浜松13期 鈴木章夫/浜松2期
- 永富高志/飯塚17期 田中守/飯塚14期
- 岡松忠/山陽17期 小関勝治/山陽18期
- <7月13日 第12R東地区ドリーム戦>
- 島田信廣/船橋11期 片平巧/船橋18期
- 岩田行雄/船橋15期 阿久津正夫/船橋13期
- 福田茂/川口12期 牛澤和彦/川口20期
- 田代祐一/伊勢崎15期 高橋貢/伊勢崎22期